

キャリアアップガイド〔水産職〕

職 種	水産
職務内容	・ 漁場環境の保全、栽培漁業の推進、漁港・漁場の整備などの水産業振興 ・ 水産技術の改良・普及 ・ 水産技術高度化のための試験研究 ・ 漁業権、漁業許可、漁業取締などの漁業調整 ・ 水産業協同組合の指導、経営基盤強化
主な配属先	・ 農業水産局本庁 ・ 農林水産事務所 ・ 水産試験場（本場、漁業生産研究所、内水面漁業研究所） ・ （公財）愛知県水産業振興基金への派遣
め ざ す 職 員 像	水産職として高い専門知識・技術力を有し、高度な企画・調整能力を兼ね備え、総合的な視点から判断し行動することができる職員

＜育成の考え方＞

- ・ 実務経験を通じて、水産職として必要な専門知識とともに緊急時の判断力・対応力などの向上を図るため、職員の適性に留意しながら、研究部門と行政部門を経験するローテーションによる人事配置を行い、高い専門性と企画・調整力を兼ね備えた水産職員の育成を図る。
- ・ 水産資源の増大、水産業の振興のための技術力の向上、漁業法始め関係法令の基礎的な知識の習得を図るため、職場のOJTを促進する。
- ・ 普及・指導業務に不可欠な水産業普及指導員資格の取得を奨励する。

＜主な職務内容別の方針＞

〔漁場環境の保全、栽培漁業の推進、漁港・漁場の整備 など〕

- ・ 農林水産事務所を経験させ、実務経験を通じて、水産業の専門能力・技術力を養うとともに、地域の課題に対応できる企画・調整力を兼ね備えた職員の育成を図る。

〔研究〕

- ・ 水産試験場で長期に研究に従事させることにより、高い専門性と高度な技術を持った研究員の育成を図る。
- ・ 技術の普及指導や行政が直面する課題に対する今後の試験テーマを設定するため、職員の適性に留意しながら、農林水産事務所を経験させる人事配置を行う。
- ・ （公財）愛知県水産業振興基金栽培漁業部に派遣し、種苗生産業務を通じ、水産職員の基礎を築く。

〔漁業調整、水産業協同組合の指導 など〕

- ・ 農林水産事務所において現場を経験させ漁業者や漁協等と関わる中で専門能力・技術力を身に付けさせるとともに、可能な限り本庁を経験させて企画・調整・指導力を身に付けさせ、総合的な視点から判断し行動することができる職員の育成を図る。

《キャリアイメージ》

区 分	水 産 職			
	異 動・配 属 の 考 え 方	必要とされる知識・能力	取得が望ましい資格等	受講すべき研修
新規採用	基礎的な技術・知識の習得や適切な指導を受けることに適した所属に配属する。 【本庁】 水産課 【地方機関】 農林水産事務所、水産試験場（本場、漁業生産研究所、内水面漁業研究所）	【採用3年目まで】 ・水産職員としての基礎固め ・水産関係法令の基礎知識		【農林水産部門研修】 ・新任農林水産部門職員研修
技師・主任 （採用後8年間）	基礎的な能力を習得するとともに適性を見出すため、下記の内容を経験できるよう計画的に異動を行う。 ① 2ヶ所の所属を経験する。 ② 可能な限り、研究部門と行政部門を経験する。 【行政部門】 ・本庁水産課 ・農林水産事務所 ↔ 【研究部門】 ・水産試験場（本場、漁業生産研究所、内水面漁業研究所） ・栽培漁業センター（派遣）	【採用8年目まで】 ・個別事業の適確な事務処理 ・水産技術の普及指導に必要な専門知識・技術	【採用8年目頃まで】 ・水産業普及指導員 ・海技士（必要に応じ取得）	・普及指導員新任者研修
主任級 （9年目以降）	ジョブローテーションに係る異動の基準を満たしていない場合は、達成するための異動を行うとともに、重点ヒアリングの内容及び人材育成プランを尊重して、できる限り本人の意向や能力・適性に応じた異動を行い、実務の中心的役割を担う職員を目指す。 漁場環境の保全、栽培漁業の推進、漁港・漁場の整備などの水産業の振興 ↔ 水産技術の普及指導、試験研究 ↔ 漁業調整、水産業協同組合の指導	【採用9年目以降主査級昇任まで】 ・幅広い職務経験 ・実務の中心的役割を担うために必要な知識・能力		
主査級	課題を自ら設定し、取り組むことにより、水産職としての能力・資質に磨きをかけ、後輩の指導・育成とともに、実務の中心的役割を担う職員をめざす。 ○農林水産事務所を経験 ○実務経験を通じて、水産業の専門能力・技術力を修得 ○地域の課題に適切に対応できる企画・調整力を修得 ↔ ○水産試験場で長期に研究に従事 ○高い専門性と高度な技術を修得 ○職員の適性に留意しながら、農林水産事務所を経験 ↔ ○農林水産事務所において現場を経験 ○漁業者や漁協等と関わる中で専門能力・技術力を修得 ○可能な限り本庁を経験させて企画・調整・指導力を修得	・漁業者、漁協等関係団体との交渉力 ・事務・事業の企画・立案力 ・許認可等申請者に対する適切な指導力		
課長補佐級	水産職として、高い専門知識・技術力を有し、高度な企画・調整能力を兼ね備え、総合的な視点から判断し行動することができる職員を目指す。	・漁業者、漁協等関係団体との調整力 ・水産業に関する技術面での専門知識 ・県民に対する説明力		
課長補佐 （グループ班長）	グループ班長として、専門分野のリーダーとしての役割を担って業務を推進するとともに、人材育成など組織マネジメントを行う。	・指導力、管理能力 ・緊急時における対応力		
備考 （その他関連措置）				【時期に応じ自治研修所研修】